

令和元年度 第1回地域家庭教育推進南会津ブロック会議 実施報告書  
(南会津) 教育事務所

1 実施期日	令和元年6月7日(金) 時間: 13時30分~15時30分
2 会場	南会津合同庁舎 2階会議室
3 出席者数	総出席者数 計 19名 (男性7名 女性12名)
(内訳)	学識経験者、絆づくりの会、地域子育てサポートチーム、郡小学校長会、南会津町民生委員 南会津町放課後子ども教室、びわのかげ保育所、下郷町学校支援員、企業代表 南会津警察署生活安全課、南会津町教育委員会社会教育担当者、下郷町教育委員会社会教育担当者 檜枝岐村教育委員会社会教育担当者、只見町教育委員会社会教育担当者 南会津教育事務所(所長、次長兼総務社会教育課長、主任社会教育主事、指導主事、SSW)
4 会議概要	<input type="radio"/> 事業説明と情報提供 <input type="radio"/> グループ協議
5 会議内容	<p>(1) 開会式</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="radio"/> 開会のことば</li><li><input type="radio"/> 主催者あいさつ【 所長 石本 浩一 】</li><li><input type="radio"/> 出席者自己紹介</li><li><input type="radio"/> 日程説明・諸連絡</li></ul> <p>(2) 協議</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="radio"/> ブロック会議についての説明【 次長兼総務社会教育課長 高橋 正敏 】<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域家庭教育推進南会津ブロック会議設置要綱について</li></ul></li><li><input type="radio"/> 事業報告と情報提供<ul style="list-style-type: none"><li>・ 福島県地域家庭教育推進会議から【 主任社会教育主事 渡部 学 】</li><li>・ 社会教育事業(家庭教育)について【 主任社会教育主事 渡部 学 】</li><li>・ 食育について【 指導主事 山内 奈美子 】</li></ul></li><li><input type="radio"/> グループ協議<ul style="list-style-type: none"><li>・ 協議の進め方について</li><li>・ 協議 テーマ: 家庭教育に若い世代(男性)をどう巻き込むか</li></ul></li><li><input type="radio"/> 各グループからの発表<ul style="list-style-type: none"><li>・ A~Dグループの代表による発表</li></ul></li><li><input type="radio"/> まとめ</li></ul> <p>(3) 閉会式</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="radio"/> 諸連絡</li><li><input type="radio"/> 総括【 次長兼総務社会教育課長 高橋 正敏 】</li><li><input type="radio"/> 閉会のことば</li></ul>



## 6 成果・課題

### (1) 成果

- 新たに作成した「地域家庭教育推進南会津ブロック会議設置要綱」についての説明や組織の構成について確認したことで、ブロック会議員であることを再認識いただくことができた。
- 福島県地域家庭教育推進協議会についての報告により、本県の家庭教育推進についての取組の現状と課題について情報を共有することができた。
- 域内町村教育委員会の方をはじめ家庭教育ブロック会議の参加者に、本所学校教育課の指導主事より「食育」について講話をしてもらい、理解を深めていただくことができた。
- 企業代表の方から、昨年度実施した企業研修会の内容について話していただいたことにより、参加者の理解を得ることができた。
- 今年度開催予定の講座や研修会の実施日をお知らせし、参加を促すことができた。
- グループ協議では、1グループ3、4人でのKJ法を用いたことで、個人の発言回数が増え、参加者一人一人が活発に自分の考えを述べることができた。
- 家庭教育支援者地区別研修会に向けて、参考になる意見を多くいただくことができた。



### (2) 課題

- 当日仕事の都合等により7名の欠席者が出た。事前に実施日等を伝えていたが、今後、参加いただく団体の選考や、参加しやすい日時を工夫していきたい。
- 今回のブロック会議で出された課題等を踏まえた上で、今後の事業を推進していきたい。